

施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物の損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

- 設置条件
 - 母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。
 - 本製品は木造住宅の2階以下に取付ける設計となっております。3階以上の高所には取付けしないでください。ただし出幅3尺以下のみ3階への取付けは可能です。
 - 本製品は600形地域（一般地域）積雪20cm以下の地域でのみお使いください。
 - 柱の移動は、当社指定範囲内にて行ってください。
 - 他社商品（パルコニー等）と組み合わせて設置しないでください。
 - 風の強い場所では補強プレスで製品の補強をしてください。
 - 崖っぶりなどの高低差のある場所には設置しないでください。
 - 風当たりの強いところは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- 躯体への固定
 - 躯体に取付けずに独立で取り付けることは絶対にしないでください。
 - ブラク類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険です。絶対に行わないでください。
 - タビーンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。
- 部材の固定
 - 組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まぬように締め付けてください。
- 施工時の足場について
 - 施工時は必ず足場を設け転落などの危険がないようにしてください。

■基礎について

- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 基礎には海砂及び急結材を使わないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- 施工前に調査を行い、地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないようにしてください。
- 寒冷地で凍上のおそれのある地域に取付ける場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 柱には水抜き穴をあけてください。柱間の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重たいものをのせたり振動させたりしないようご注意ください。

■絶縁処理について

アルミ材が垂鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

■パネルについて

屋根パネルは当社指定の製品をご使用ください。

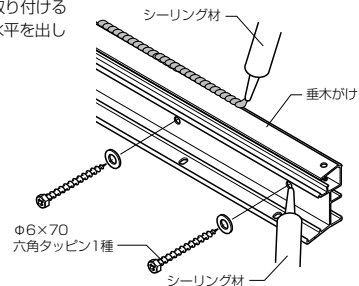
■施工上について

- 母屋の構造材が入っている場所へ取付けてください。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 水平垂直は正確に測ってください。直角が出ていないと施工に支障がでるおそれがあります。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- 取付けは専門業者が行なってください。
- 漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- シーリング指定箇所には、必ずシーリング材を充て込んでください。

■取付け順序

1 垂木かけの取付け

①垂木かけを躯体に取り付ける際、必ず水準器で水平を出してください。



※垂木かけは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取り付けてください。
※躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施工者と十分打ち合わせをし、必要に応じて補修してから取り付けてください。

2 柱・前枠の取付け

①前枠のボルトホールにテラス柱用裏板付ボルトを挿入し、柱固定金具をA寸法に合わせて固定します。
②柱固定金具に柱をねじ止めします。

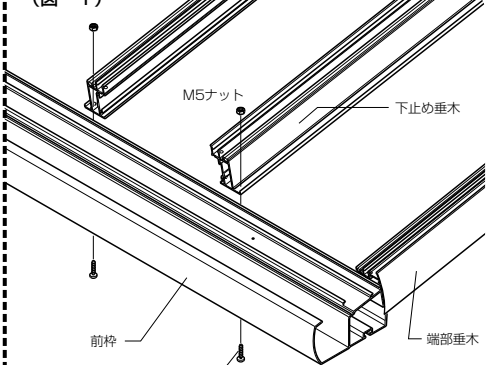
3 端部垂木の取付け

①部品がついている小口を前枠側にして前枠及び垂木かけに固定します。

4 中間垂木の取付け

①前枠と垂木かけに固定します。
※中間垂木は左右対称です。

■下止め仕様の場合 (図-1)



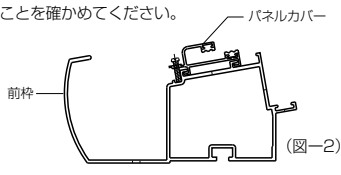
※1スパンのみ (図-1) のように下止め用垂木を取り付けます。

5 野縁の取付け

①真中のスパンから順にねじ止めします。
※下止め仕様の場合はパネル取付け後になります。

6 パネルカバーの取付け

①パネルカバーを (図-2) の位置にねじ止めします。
※必ず嵌合していることを確かめてください。



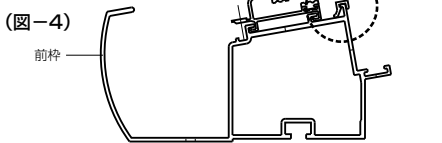
※下止め仕様の場合は、下止めスパンのみ (図-3) の部材を使用してください。

(図-3)

パネルカバー (下止め用)

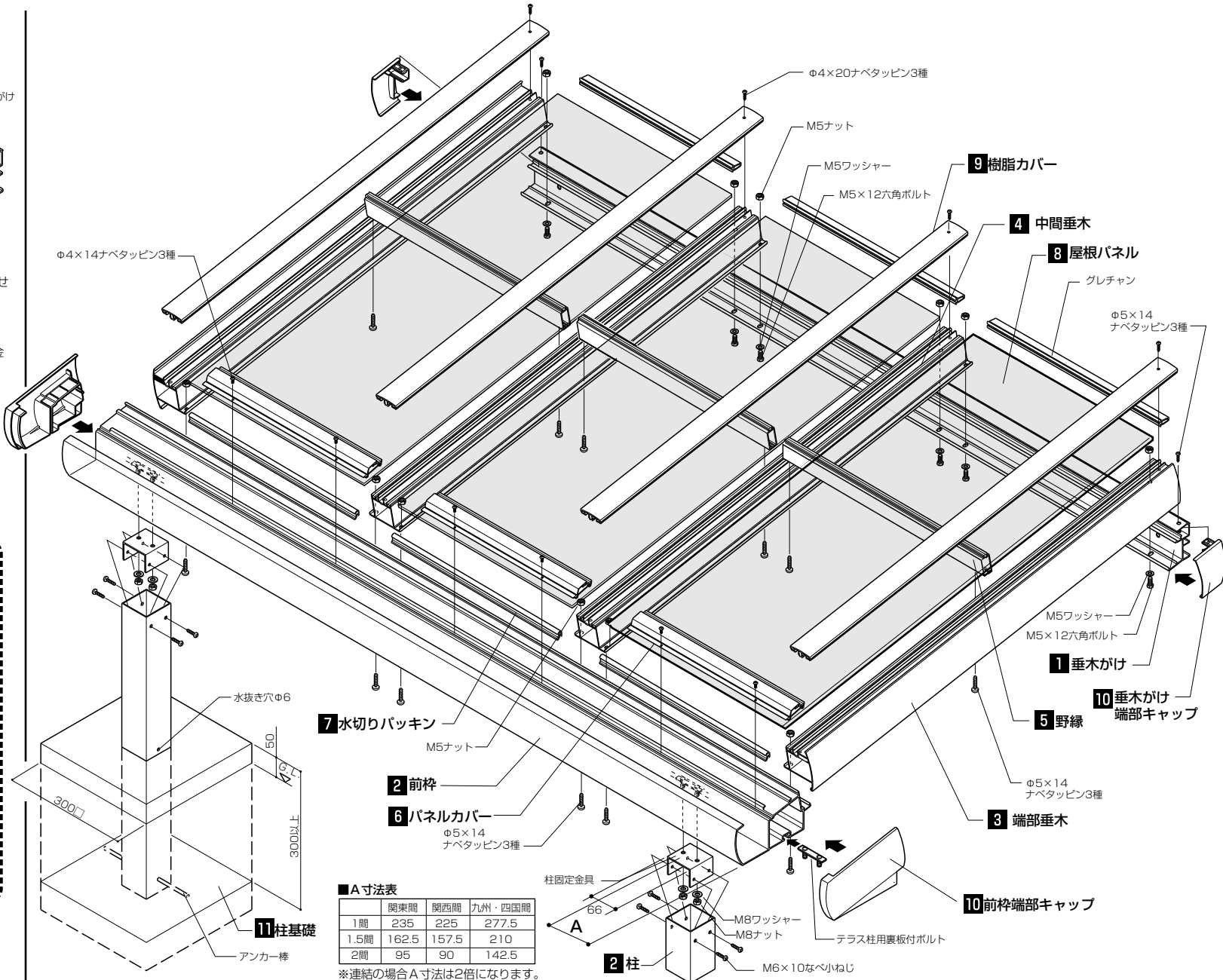
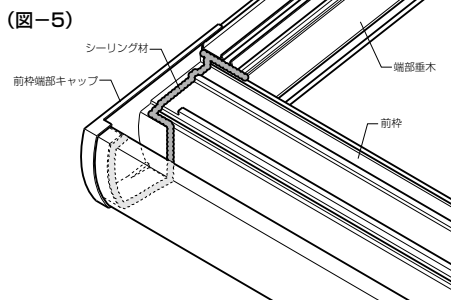
7 水切りパッキンの取付け

①水切りパッキンを垂木の内々に (図-4) のようにはめ込みます。
※必ず嵌合していることを確認してください。
※下止めスパンには取り付けしないでください。



8 前枠端部キャップの取付け

①前枠端部キャップを前枠に取り付け、十分にシーリングします。
(図-5)



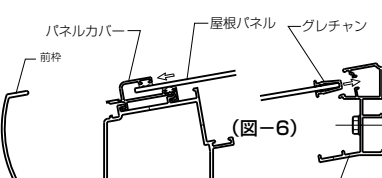
■A寸法表

	関東間	関西間	九州・四国間
1間	235	225	277.5
1.5間	162.5	157.5	210
2間	95	90	142.5

※連結の場合A寸法は2倍になります。

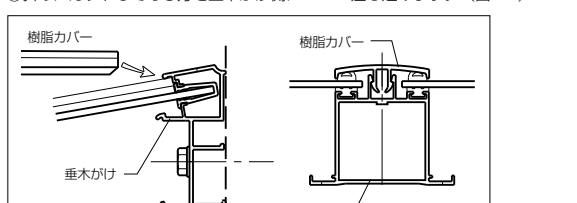
9 屋根パネルの取付け

①グレチャンを取り付け、(図-6) のように垂木かけパネルカバーに取り付けます。
※下止め仕様の場合は、下止めスパンのみ樹脂カバー取付け後にパネルを取り付けます。

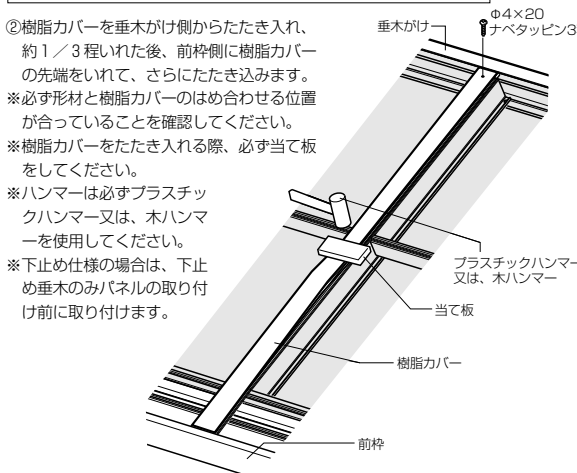


10 樹脂カバーの取付け

①斜めにカットしてある方を垂木かけ側に4mm 差し込みます。(図-7)

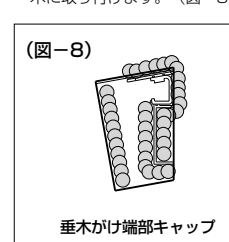


②樹脂カバーを垂木かけ側からたたき入れ、約1/3程入れた後、前枠側に樹脂カバーの先端をいれて、さらにたたき込みます。
※必ず形材と樹脂カバーのはめ合わせる位置が合っていることを確認してください。
※樹脂カバーをたたき入れる際、必ず当て板をしてください。
※ハンマーは必ずプラスチックハンマー又は、木ハンマーを使用してください。
※下止め仕様の場合は、下止め垂木のみパネルの取り付け前に取り付けます。

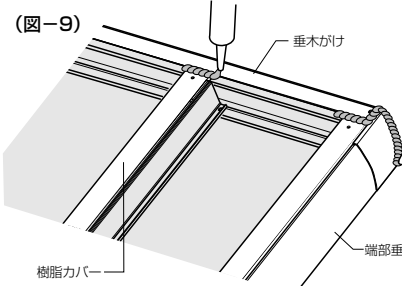


11 シーリング処理

①垂木かけ端部キャップに十分にシーリングした後端部垂木に取り付けます。(図-8)



② (図-9) の箇所をもなくシーリングしてください。



※シリコン系シーリング材を使用した場合、アクリル板のヒビ割れなどが考えられますので、当社指定のシーリング材又はプライマーを使用してください。
〔東芝#380・#381・東SE555〕
なお、東芝#381・東SE555はプライマー不要です。

12 柱基礎

①柱埋め込み穴をコンクリート (又はモルタル) で埋めてください。
※地下埋設物 (給水管など) に影響を及ぼさないようにしてください。
※コンクリート (又はモルタル) に急結材は絶対に使用しないでください。
※海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、水洗いしたものをご使用ください。

■雨樋の取付け

